

2014 年 5 月 20 日

報道関係者各位

国際基督教大学

ルワンダ駐日大使館 国際基督教大学 共催

ルワンダジェノサイド 20 年追悼記念講演

ルワンダにおけるツチ族の虐殺から 20 年が経過しました。
犠牲となった命を偲び、ジェノサイドが今後二度と繰り返されぬよう、
追悼記念講演を行います。

お問い合わせ先：

国際基督教大学パブリックリレーションズ・オフィス（担当：佐藤・橋本）

Tel：0422-33-3040 Fax：0422-33-3764

E-mail：pro@icu.ac.jp

取材をご希望の方は、お手数ではございますが 3 ページ目「取材申込書」を事前送付下さい。

言語：英語。当日は通訳がつきませんが、必要であれば講演会終了後に担当教員が概略を説明しますので、別途お申し出ください。

■ 講演概要

ルワンダ駐日大使館と国際基督教大学 (ICU) は、5 月 24 日 (土) 13:30~16:30、本学にて、1994 年 4 月から 7 月のわずか 100 日の間に推定約 80 万人が犠牲となったと言われている、ルワンダでのツチ族に対するジェノサイドから 20 年目である今年、2 名の専門家を迎えた追悼記念講演を行います。

• Dr. アーヴィン・スターブ (Dr. Ervin Staub) 氏

<講演タイトル>

“Principles and Practices of Reconciliation and Building Harmonious Societies” (日本語訳：和解と調和のとれた社会形成における原則と手法)

ジェノサイドや暴力を乗り越え、人々はどのように和解の道へ進むことができるのか。そのために必要な原則を説明します。さらに和解を経て、調和のとれた社会を形成する方法に関して、スターブ氏自身のルワンダでの経験をもとに語ります。

<プロフィール>

集団暴力と虐殺の起源、ルワンダなどの紛争解決における国際的専門家

1962 年ミネソタ大学卒業後、65 年スタンフォード大学博士課程修了。65 年ハーバード大学に着任し、71 年からマサチューセッツ大学アマースト校で教鞭を執る。現在は同大名誉教授 (心理学)。この他、国際政治心理学会 (International Society of Political Psychology) 代表を務めた。

- Dr. ローリー・パールマン (Dr. Laurie Pearlman) 氏

<講演タイトル>

“Understanding and Addressing the Impact of Collective Trauma on Reconciliation Processes.” (日本語訳：和解のプロセスにおける集団的心的外傷への理解と対処方法)

集団的暴力行為は生存者に深い心的な傷を残し、和解プロセスに障害をもたらします。この講演では、集団的暴力行為がどのような悪影響を及ぼすのか、和解を妨げる要因へのアプローチ方法を探ります。

<プロフィール>

心的外傷からの解放・癒しに関し、ルワンダでの豊富な経験を持つ国際的専門家
1987年コネチカット大学博士課程修了(臨床心理学)。86年に成人及び青年期における心理療法のためのストレス研究所を設立。96年にはトラウマの研究、教育、トレーニングを行う Trauma Research, Education, and Training Institute (TREATI)を設立。現在、マサチューセッツを拠点にトラウマコンサルタントとして活動。アメリカ心理学会(トラウマ部門)委員長、ヘディングトン研究所上級心理コンサルタント、TREATIの前所長。

■ 開催概要

日 時：5月24日(土) 13:30~16:30

会 場：国際基督教大学 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス 国際会議室 2階 (建物番号17番)
(東京都三鷹市大沢3-10-2：JR中央線・武蔵境駅よりバス12分)

キャンパスマップ：<http://www.icu.ac.jp/info/facilities.html>

時間	内容
13:30~13:50	開会の挨拶 チャールズ・ムリガンデ駐日ルワンダ大使、 日比谷潤子国際基督教大学学長
13:50~14:00	ドキュメンタリーフィルム上映 “The Rwandan Genocide made by the National Commission Against Genocide”
14:00~14:45	基調講演 Dr. アーヴィン・ストーブ (Dr. Ervin Staub) 氏 “Principles and Practices of Reconciliation and Building Harmonious Societies”
14:45~15:00	質疑応答
15:00~15:15	休憩
15:15~15:45	講演 Dr. ローリー・パールマン (Dr. Laurie Pearlman) 氏 “Understanding and Addressing the Impact of Collective Trauma on Reconciliation Processes.”
15:45~16:25	質疑応答
16:25~16:30	閉会の挨拶 チャールズ・ムリガンデ駐日ルワンダ大使、 日比谷潤子国際基督教大学学長

— 以上 —